

# 沖縄県林業試験場の概要

林産開発室 照屋 秀雄

## 1. 沿革・概要

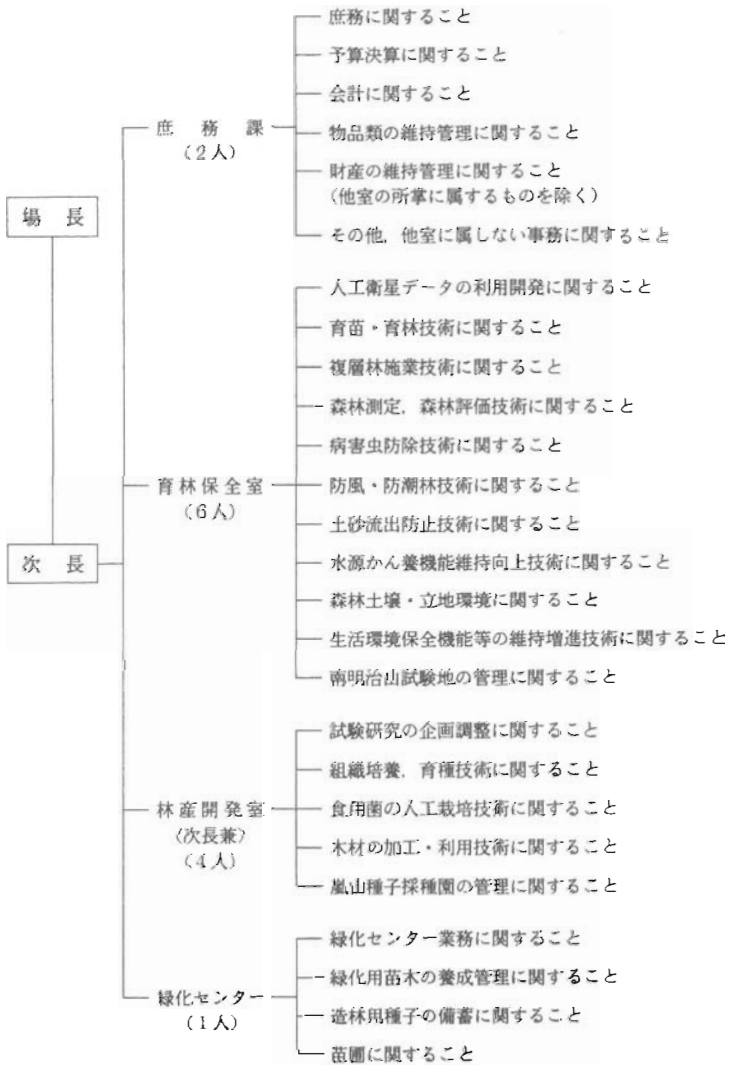
沖縄県の林業試験場は、昭和25年(1950年)4月1日琉球農林省が設置されたのに伴い、当時の小禄村米軍航空隊基地内(那覇市小禄)に「琉球林業試験場」として設置された。

昭和32年(1957年)には、米軍からの立退きの要請があり、首里市赤平町(現那覇市首里)に移転した。

現在地の名護市には、昭和41年(1966年)に移転している。

昭和47年(1972年)には、沖縄の日本復帰により「琉球林業試験場」から「沖縄県林業試験場」に改称され、現在に至っている。

## 2. 組織及び業務分掌



## 3. 人員構成

行政職		研究職	現業	計
事務	技術			
2	1	10	1	14人

## 4 研究課題と研究内容及び研究者名

部門別	研究課題	試験研究の概要	期間	区分	分担	担当者
防災	防風林の機械効果及び樹種特性に関する研究	防風林の機能を効果的に推進するため、防風林の機能及び効果を明らかにするとともに、防風林樹種の特性を明らかにする。	H 6～ H10	県単	育林保全室	平田 功
防災	亜熱帯林業技術受託研究	森林の公益的機能の向上に資するため、森林流域の流量測定、森林流出水の水質測定、蒸発散特性の解析を行う。	H 6～ H10	国委託	〃	漢那 賢作
防災	風害発生危険地域の判定及び風害に抵抗力のある森林施業手法の解明	海岸林において台風による被害を解析し、風害を受けにくい海岸林を育成する手法を検討する。	H 7～ H 9	国補助	〃	生沢 均
森林保護	小笠原森林生態系の修復・管理技術に関する研究	小笠原諸島にはびこるアカギの繁殖を制御するため、昆虫を利用した方法を検討する。	H 7～ H10	国委託 共同研究	〃	生沢 均
森林保護	緑化木病害虫の生態と防除	緑化木病害虫の生態調査と防除試験を行い、防除マニュアルを作成する。	H 6～ H 8	県単	〃	仲栄真盛長
環境保全	環境緑化用樹木の利用・開発	中南部地域の緑化樹木の開発及び公園、街路樹、緑地帯、造成地等の環境緑化樹木の利用、開発技術について検討する。併せて、残土処理場の緑化技術の検討を行う。	H 6～ H 9	県単	育林保全室	生沢 均
森林育成	地形区分による天然広葉樹林の更新	地形区分による萌芽更新木と人工植栽木の成育特性を明らかにし、これら更新方法の組み合わせによる造林技術の確立を図る。	H 6～ H 8	県単	〃	寺園 隆一
森林育成	外国産樹種の導入試験	熱帯、亜熱帯等の地域から本県に適すると思われる重要樹種を導入し、地域適応性を検討する。	H 4～ H 8	県単	〃	生沢 均
森林育成	主要造林木の成長と立地条件の解明に関する研究	造林事業推進上の基礎的課題である主要造林樹種の成長と立地環境の解明を行う。	H 6～ H10	県単	〃	生沢 均
森林育成	主要造林樹種の育苗技術に関する研究	本県の主要造林樹種27種のうち、育苗技術の明らかでない樹種や将来有望な樹種について育苗技術を確立する。	H 6～ H10	県単	〃	平田 功
森林経営	リモートセンシング技術による森林管理と環境保全に関する研究	衛星リモートセンシング技術を活用した森林の経時的変化を把握する技術の開発や、流域の環境保全モニタリング技術を開発し、森林資源管理の効率化や土砂流出防止のための流域内の土地利用の適性化を図る。	H 6～ H10	県単	〃	寺園 隆一
育種	有用樹種の組織培養試験	増殖困難な樹種及び優良個体系の増殖を図るための組織培養技術を開発する。	H 6～ H10	県単	林産開発室	近藤 博夫
特用林産	しいたけ栽培技術の改善	子実体の形状と栽培技術の解明等しいたけ栽培技術の改善を行う。	H 7～ H10	県単	〃	比嘉 享
特用山林	食用きのこ栽培技術の改善	食用きのこの栽培技術(養や種菌保存技術)の確立及び野生きのこの利用開発を進め、食用きのこの栽培技術の体系化を図る。	H 7～ H11	県単	〃	比嘉 享
木材利用	主要広葉樹における接着技術の研究	付加価値の高い造作用集材や家具用材を製造開発するための接着技術の確立を検討する。	H 6～ H 9	県単	〃	嘉手苺幸男
木材利用	黒産木材の材質特性の研究	黒産材の有効利用を図るため、主要樹種の材質特性を明確にする。	H 8～ H10	県単	〃	嘉手苺幸男
防災	酸性雨等森林被害モニタリング事業	酸性雨等の森林被害状況を調査するため、衰退度調査及び雨水採取等を行う。	H 7～ H11 単年度	国委託	育林保全室	平田 功
森林保護	松くい虫発生予察事業	松の材内におけるマツノマダラカミキリの発育状況等と気象条件から成虫の発生期間を推定し、防除期間の決定等に役立てる。	単年度	国補助	〃	仲栄真盛長
森林育成	熱帯産竹(巨竹)の増殖・生産技術の検討	巨竹を多目的に利用するため、増殖・栽培技術の改善などの検討を行う。	単年度	国補助	〃	生沢 均
育種	林業技術体系化調査	松材線虫病抵抗性松の育種状況をビデオで撮影し、林業技術の体系化と普及啓発及び広報に役立てる。	単年度	国補助	林産開発室	近藤 博夫
育種	地域特色品種調査	タイワンオガタマの精鋭樹候補木を選抜し実生苗、挿し穂等の繁殖母材料を得る。	H 8～ H13	国補助	〃	近藤 博夫
育種	松の材線虫病抵抗性松の育種	マツノザイセンチュウ病に抵抗性のあるリュウキュウマツの採種圃を造成するための育種。	S63～ 単年度	国補助	〃	近藤 博夫
育種	林木ジーンバンク事業	沖縄県内の貴重な林木の遺伝資源を保存するため、種子及び挿し穂等を採取し増殖を図る。	H 8～ H13	国補助	〃	近藤 博夫
特用林産	野生食用菌の生態調査	オオシロアリタケ、その他野生食用菌の人工栽培化を促進するため、菌株の収集、栽培試験及び生理生態調査等を行う。	H 7～ H11	県単	〃	比嘉 享
特用林産	ニオウシメジの現地適応化試験	ニオウシメジの露地栽培の現地適応化試験。試験地域：宮古、本島中南部、八重山。	単年度	国補助	〃	比嘉 享
木材利用	塗装合板及び集成材の屋外暴露試験	塗装合板と集成材を屋外で暴露、塗装面欠陥、含水性を測定する比較試験。	単年度	団体 依頼	〃	嘉手苺幸男